

絵金と妻・初菊

幕末から明治にかけて土佐で活躍した異端の絵師、弘瀬金蔵。通称「絵金」。文化九年に高知城下の髪結いの子として生まれた金蔵は幼少の頃から画才に秀でていた。藩主山内侯息女徳姫出符に際し、駕籠かきの名目で供に加えられて十八歳で江戸に上り、土佐江戸藩邸御用絵師・前村洞和と、幕府御用絵師・狩野洞益に師事する。通常十年の修業期間を三年で免許皆伝となり、天保三年、土佐に帰国した。

土佐藩家老・桐間家の御用絵師となったが、ある時狩野探幽の贋作を描いた嫌疑を掛けられ、狩野派からは破門、お抱え絵師の座も剥奪され、高知城下追放の処分となる。御用絵師としてそれまで描いてきた作品の殆どは焼き捨てられた。

この「偽絵事件」、金蔵への妬みや嫉妬から、陥れられたのではないかと、とも言われているが、真相は闇の中である。

ここから金蔵の流浪の旅が始まった。放浪しながら町絵師として暮らしを繋いでいたのである。土佐国内を転々とし、また、上方で芝居者の中に入っていたのではないかと考えられている。

足取りの分からぬ謎の十年を経て、やがて叔母のいる赤岡の町に辿り着く。

その地で町絵師金蔵は、スーパースターとして町絵師として見事に復活したのだった。「絵金」の愛称で親しまれ、多くの傑作を残している。中でも土俗的で血みどろの芝居絵は、大衆に熱狂的に受け入れられた。闇の世界を描いた絵金の作品達は後に「土佐赤岡絵金祭り」となり、夏の夜の熱気と共に現代まで受け継がれている。

そんな数奇な絵師の人生を支えた一人の女性があった。明治九年、絵金六十五歳にて没するまで添い遂げた、妻・初菊である。初菊についての記録は殆ど残っておらず、謎多き絵金の更の上をいく謎の人である。御用絵師まで上りつめた後に流浪の身となった夫を待ち、三人の子供を育て上げた初菊とは、どんな女性だったのであろうか。絵金が亡くなったから三年後の明治十二年、初菊も後を追うように六十二歳でこの世を去った。

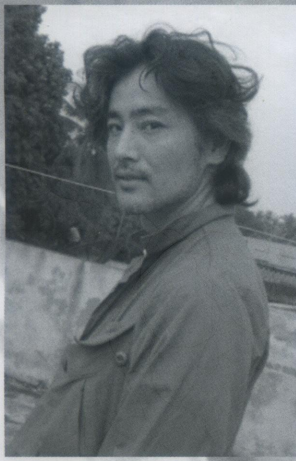
波乱の人生を生き抜いた異端孤高の絵師・絵金とその妻初菊は、現在、高知・釣野の墓所に静かに眠っている。

神山てんがい(役者、作・演出)

舞台を中心に役者として活動。また脚本家・演出家としてこれまでに多数の舞台を作り上げる。演劇、音楽、ダンス等のコラボユニット「煉獄サアカス」主宰。東京、京都、韓国ソウル等でライブ活動を行う。映画、テレビ、弾き語りライブ、路上パフォーマンスなど活動の幅は多岐にわたる。ここ数年は「哀愁と滑稽の一人芝居短編集」を都内各所で精力的に上演。

◆映画「鍵穴通りでサヨウナラを」(アップリンクファクトリー等で上映)「訪問」(第二回短編ホラー幻想映画祭準グランプリ受賞作品)「白亜都市」等出演。最近ではオーストラリア出身カール・ステラ監督作品「帰り道~The Way Home~」に出演。

◆本作「絵金縦伝」を新たなライフワークとして本格的に取り組み、6度に渡る高知探訪。絵金が筆をふるった赤岡町へは毎回欠かさず訪れ、2012年に初演を一人芝居で、その後短編、中編を上演。昨年10月高知はりまや橋商店街での「絵金生誕祭」にて上演直後、東京での高知ゆかりのイベント「しばてん魂レビュー」にて新作上演。高知新聞、NHK高知より取材を受ける。エピソードが増え進化していく絵金の物語を、今後も全力で編み上げていく。土佐弁修行中。



上森ひろみ(役者)

高知県出身。新体操歴9年。市民ミュージカル「RYOMA」出演を機に、同団員達で立上げた劇団へ出演。須賀ジャズダンススタジオ、演劇センター'90にて学び、「弟よ」「ゲゲゲのげ」「ナツヤスミ語辞典」等に出演。上京後、ミュージカル「ANNIE」等の制作、付人、劇団未来良夢を経て、様々な公演に出演。幕末劇では演出助手や土佐弁指導も。映像ではCMインフォーマーシャルや自主映画「落下距離・130cm・鳥」(常磐司郎監督)他出演。近年は劇団劇作家公演の劇読み!「博士の愛した数式」「ヒトノカケラ」「風の贈り物」、また絵金二人芝居(ショートシークエンス)等に出演。



ナカヒラ ミキヒト(ギター・唄)

味わい深いオリジナル曲と、独自の解釈でアレンジされたカバー曲を交えて、一度聴いたら忘れられない鋼の唄声とともに独特な世界を表現するシンガーソングライター。都内のバーを転々としてきた後、現在はオリジナル曲を中心にバンド編成にてバーやライブハウス、路上などでも活動中。踊り、映像、絵画、造形など様々なアートとのコラボレーションによる表現活動もおこなっている。2012年に「夜の囚人」を、2015年に「夜明けの晩」をリリース。(高知県土佐市出身)

《ホームページ》<http://www.kemusiblu.com>



阿坐弥-あざみ-(三味線・唄)

5歳からピアノを始め、小学校では吹奏楽部でアルトホルンを担当、高校時代のアメリカ留学中にジャズを学ぶ。帰国後はロックバンドを結成し、それがきっかけでヘビーメタルに傾倒。社会人になってからはオリジナル曲でギター弾き語り活動を開始。その間に日本人の本来持っているリズム感を知りたくなり、民謡と三味線を体験すべく、浪曲師 国本武春氏のワークショップに参加。自分の感性に合うと感じ、すぐに三味線を購入、民謡安藤流宮月会に入り、唄と三味線を安藤宮月氏に師事。そこで生活の中から生まれる日本独特の音楽性、また他国の民謡音楽との共通性などに興味を持ち、現代的な民謡を表現すべくライブハウスなどでオリジナル曲などの三味線弾き語りライブを行っている。

渦ヨーク

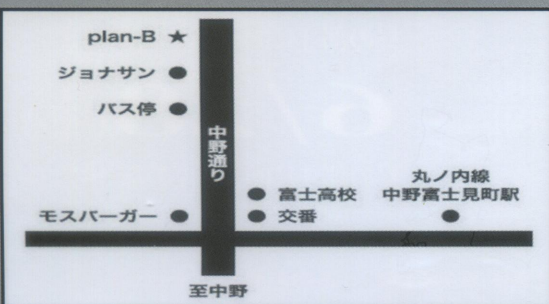
高知県出身。「不汁無知ル」煉獄サアカスのSax&Vo、俳句朗読のパフォーマーとして活動中。絵金の描く、オドロオドロしくもありながら妖艶、深刻でありながら滑稽という、その奥深き絵の世界に魅せられ虜となる。更に何か違った形でこの素晴らしき絵師をご紹介できないかと、構想7年着手3年を経て2012年12月、絵金の半生の舞台化を初プロデュース。今回は2度目の本公演となる。

【会場】
Live Space plan-B(ライブスペース・プランビー)

東京都中野区弥生町4-26-20モナーク中野B1
TEL:03-3384-2051 URL: <http://www.i10x.com/planb/>

【アクセス】

- ・地下鉄丸の内線 中野富士見町駅下車7分
- ・JR中野駅南口より京王バス
- 渋谷行きか新宿駅西口行、富士高校前下車



2015年 《開場は開演の30分前です》
6月27日(土) 昼の部 14:00~ 夜の部 19:00~
6月28日(日) 昼の部 14:00~ 夜の部 19:00~
前売・予約 3,000円 当日 3,500円

【ご予約】.....

- ①お名前(フリガナ) ②郵便番号 ③ご住所 ④お電話番号
- ⑤メールアドレス ⑥ご希望日時 ⑦ご予約人数

◆以上を明記の上、下記までメール又はFAXにてお申し込み下さい。
チケットのご購入について、折り返しご連絡申し上げます。

(E-mail) info@kamiyamatengai.com

(FAX) 0422-53-0183

◆只今ご予約受付中です。お席がなくなり次第締め切らせて頂きますので、是非お早目のご予約をお願いいたします。



ご来場のお客様に抽選で、ささやかですが絵金にちなんだプレゼントをご用意しております。ご来場を心よりお待ちしております